

平成30年12月

八尾市民大学講座 通信

第8回講座 (12月15日)

皆に知ってほしい 一認知症の人の 心の世界一

大阪大学大学院人間科学研究科

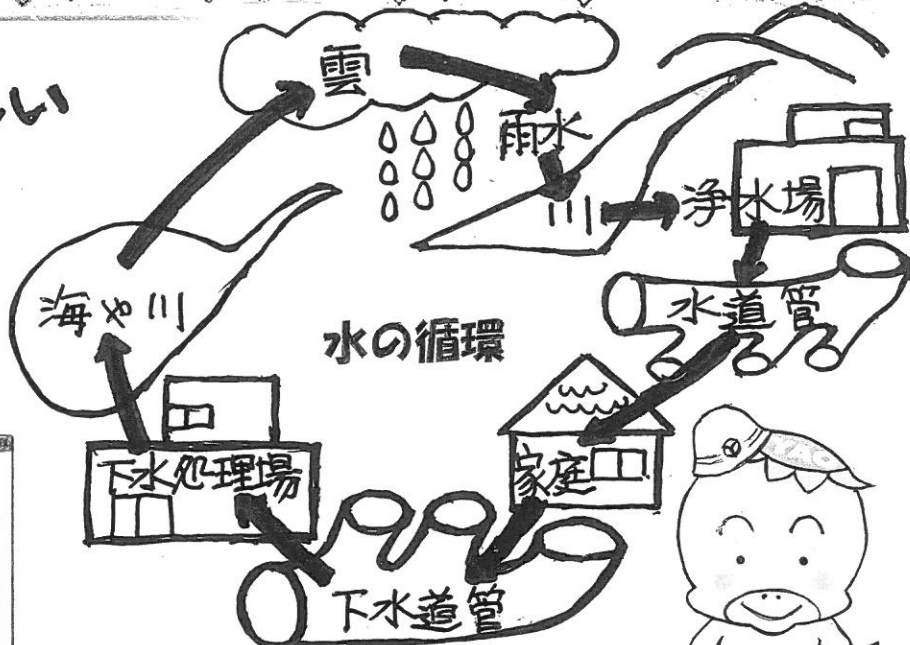
教授 佐藤 眞一 さん

人の心の世界とは。自分の心のことをよくわからないことがあります。他人の心のこと、まして、認知症の人の心の世界は、どんなでしょう。認知症は誰れぞと隣ると言われています。「隣った」と、自分でわかるのでしょうか。認知症の人の心の世界は、特別なのでしょうか。まわりの認知症の人と心が通じあえたら、和やかなくらいが、おくれることでしょうか。

下水道の知識が不足でしたが、劇の博士と助手のコンビの説明で良く分かった。非常に勉強になった。今後活かしていきたいと思う。(80代 男性)

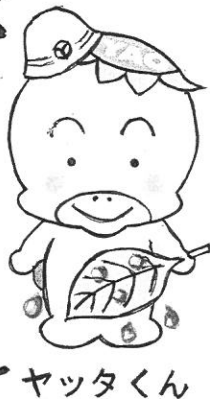
「雨水ます」が家の近くにあるので注意してみます。(70代 男性)

劇は、少し低学年層向けであったが、下水道の重要性を再認識できた。(70代 男性)



第7回講座 (11月17日)

私たちの生活を支える下水道 ー現状と課題ー



都市整備部下水道管理課管理係 主査 平井 剛士 さん

劇団「お笑いサタケ道場」佐竹 仁さん、たちべまどかさん

私たちの生活排水の1番の汚れは、トイレ排水です。そして、1番やっかいなのは、油です。排水管のつまる大きな原因の一つです。コップ1杯の油を処理して川に流せるほどの水にするには、お風呂の水13コップ分というそうです。

とても理解のしやすい話し方、内容で大変良かったです。今日のお話を頭に入れて生活したいです。未来へ子どもたちを頑張ろう!! (70代 女性)

下水道の整備によって近所の河川やトイレの衛生が格段に向上したが、その中に色々な問題があることを認識した。排水や生活用水の廃棄に気をつけなければ... (70代 男性)

第9回講座 (平成31年1月19日)

よりよい地域づくりを 私たちの手で

ー協働のまちづくり入門ー

近畿大学総合社会学部 教授 久 隆若 さん

高齢者は、いいもの。このまち。若者たちは、ずっと住んでいたい。私たちが、まちをつかっていくのです。子どもたちも、力をあわせるよ。



八尾市のデザインマンホール